

製品名: SDC1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81304**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	32.5kDa

抗原情報

遺伝子名	SDC1
別名	SDC; CD138; SYND1; syndecan
遺伝子 ID	6382.0
SwissProt ID	P18827
免疫原	大腸菌で発現したヒト SDC1 (AA: 28-171) の精製された組み換え断片。

背景

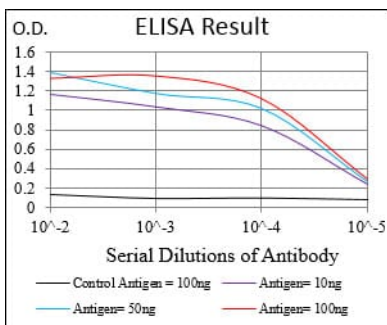
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通型 (I 型) ヘパラン硫酸プロテオグリカンであり、シンデカンプロテオグリカンファミリーに属します。シンデカンは細胞結合、細胞シグナル伝達、細胞骨格形成に関与し、シンデカン受容体は HIV-1 tat タンパ

ク質の細胞内移行に必須です。シンデカン-1タンパク質は膜貫通タンパク質として機能し、細胞外マトリックスタンパク質受容体を介して細胞増殖、細胞移動、細胞-マトリックス相互作用に関与します。シンデカン-1の発現異常は、複数の異なる腫瘍型で検出されています。この遺伝子には複数の転写バリエーションが存在する可能性がありますが、現在までに完全長の変異体についてのみ報告されています。これら2つがこの遺伝子の主要な変異体であり、同じタンパク質をコードしています。

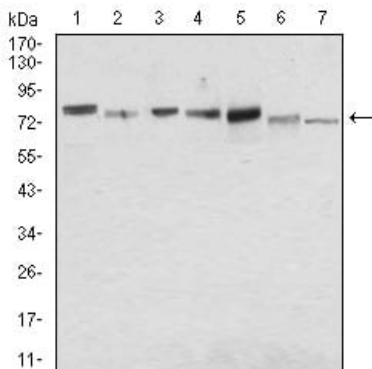
研究分野

-

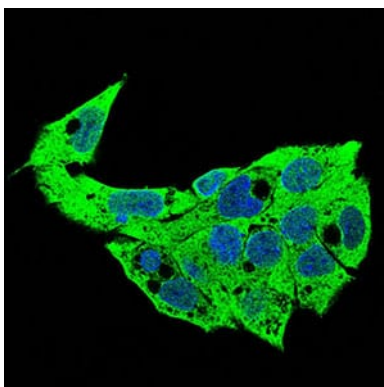
画像データ



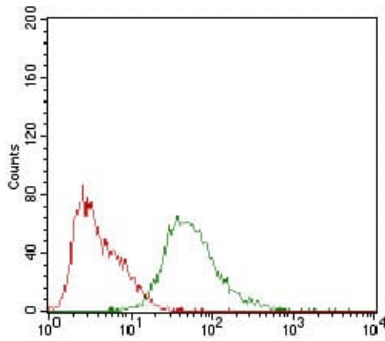
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



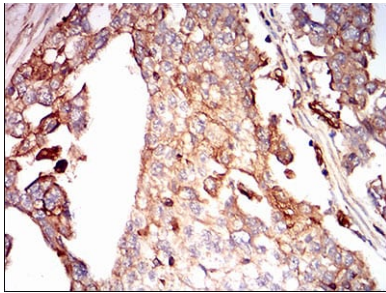
MCF-7 (1)、Hela (2)、HepG2 (3)、T47D (4)、SW620 (5)、Jurkat (6)、NIH/3T3 (7)細胞溶解物に対するSDC1マウスmAbを用いたウエスタンブロット解析。



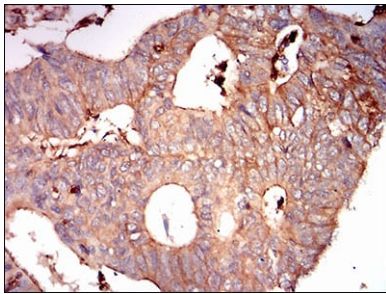
SDC1マウスmAb (緑)を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



SDC1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



SDC1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



SDC1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。